

発達障害者の適切な就労に 向けて必要なこと



福井県では、発達障害児者への支援と就労の現状を把握し、就職のミスマッチや早期離職を未然に防止し、発達障害者が力を活かして自分らしく活躍・生活できる支援体制の整備を図ることを目的とする福井型就労プロジェクトを昨年度スタートさせた。昨年度はプロジェクト会議、就労支援者向け研修、発達障害の自己理解ツールの研究を行った。それを踏まえ、今年度は教育部会、福祉部会、就労部会という3つの専門部会をおき、その中で、自己理解ツールの高校への試行と評価方法の検討、発達障害者サポーター育成研修のカリキュラム検討、受け入れ企業等に対する出前講座の実施方法の検討などを行う予定である。

今年度のシンポジウムにおいては、現在進行中の「福井型就労支援プロジェクト」の概要を県の担当者から説明してもらい、ついで、プロジェクト内容に関連した内容として、適正な就労に必要な自己理解についての話題提供、発達障害者を雇用している企業から合理的配慮提供に関する話題提供をいただく。

その後のディスカッションの中で、発達障害者の適正な就労を実現するために「準備しておくべきこと」、「受け入れる側の配慮のあり方」などについて理解を深めたい。

■日時 令和4年7月24日（日）14：00～16：00

■スケジュール

14:00～14:05 開会の挨拶および開催趣旨説明

清水 聡（福井県立大学、JDDnet福井代表）

14:05～14:35 話題提供1 福井型就労プロジェクトの紹介

芝 康弘（福井県障がい福祉課）

14:35～14:55 話題提供2 障害特性に関する自己理解を進めるには

藤岡 徹（福井大学教育学部）

14:55～15:15 話題提供3 企業における合理的配慮の提供プロセス

梶 進一（DMM.com）

休憩(10分)

15:25～15:55 総合討議 「発達障害者の適正な就労に向けて」

司会 永井弘明（JDDnet理事）

15:55～16:00 閉会の挨拶（永井弘明）

参加費無料 要事前登録 120名迄

主催：日本発達障害ネットワーク福井（JDDnet福井）

共催：NPO法人はるもにあ 後援：福井水仙ロータリークラブ

JDDnet福井 令和4年度シンポジウム 参加申込方法

- ①シンポジウムは新型コロナ感染予防のために全てオンライン（ZOOM）を用いて行います。
- ②シンポジウムへの視聴にはカメラ等を付けたデスクトップパソコン/ノートパソコン/タブレット/スマートフォンが必要です。
- ③当日、zoom利用上の理由で視聴出来ない場合でも、当方は責任を負えません。
- ④申し込みはピーテックスにてお願いします。電話、FAXでの申し込みは出来ません。
- ⑤申し込み先 <https://jddnetfukui2022.peatix.com>
- ⑥先着120名で打ち切ります。
- ⑦こちらから、受け付けましたとのメールがあった人のみ参加できます。
- ⑧参加される人にはオンラインシンポジウムに参加できるURL、会議名、パスワード等をお送りいたします。これらを申込者以外に伝えないでください。事前に参加登録、承認されていない人は当日参加を認めません。
- ⑨このシンポジウムは録画をいたしますが、JDDnet福井の会員団体及びJDDnet福井が認めた人以外は視聴できません。
- ⑩ピーテックスをご利用できない方は、下記のメールアドレスに、氏名（ニックネームは不可）、団体または住所、メールアドレスをお送りください。
nagaimachinaka@yabb.ne.jp
- ⑪受付開始 令和4年7月4日
- ⑫受付終了 登録者が120名に達した時点



問い合わせ先 JDDnet福井事務局(永井090-6275-0876)